



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月1日

上場会社名 日東紡 上場取引所 東
 コード番号 3110 URL <https://www.nittobo.co.jp>
 代表者（役職名）取締役代表執行役社長（氏名）多田 弘行
 問合せ先責任者（役職名）上席執行役（氏名）梶川 浩希（TEL）03-4582-5040
 半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 2024年12月9日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向けオンライン会議）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	53,051	24.1	7,345	135.6	7,720	84.4	5,411	53.9
2024年3月期中間期	42,734	△9.1	3,118	△32.2	4,187	△32.5	3,516	△53.0

（注）包括利益 2025年3月期中間期 7,892百万円（△5.5%） 2024年3月期中間期 8,347百万円（△25.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2025年3月期中間期	円 銭 148.63	円 銭 —
2024年3月期中間期	96.59	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	211,337	130,406	58.8
2024年3月期	212,112	123,707	55.7

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 124,339百万円 2024年3月期 118,191百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	22.50	—	32.50	55.00
2025年3月期	—	27.50			
2025年3月期（予想）			—	59.50	87.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	109,000	16.9	15,000	78.8	16,000	64.1	10,500	43.9	288.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、[添付資料] 9 ページ記載の「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期中間期	37,723,012株	2024年3月期	37,723,012株
2025年3月期中間期	1,315,287株	2024年3月期	1,314,573株
2025年3月期中間期	36,408,087株	2024年3月期中間期	36,409,491株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述などについてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、[添付資料] 3 ページ記載の「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、欧米でのインフレに沈静化の兆しが見られるものの、中国の景気低迷などにより、不安定な状態が継続しました。わが国経済は企業収益や設備投資が持ち直し、景気は緩やかに回復した一方、原材料価格の高騰による物価上昇及び不安定な為替相場などの要因により、先行き不透明な状況は継続しました。

このような環境の下、当社グループは長期ビジョン『Big VISION 2030』の実現に向けて本年4月より新中期経営計画(2024-2027年度)をスタートしました。持続可能な社会実現に向け、「環境・エネルギー」「デジタル化社会」「健康・安心・安全」に貢献するグローバル・ニッチNo.1を創造し続ける企業グループを目指しています。

当中間連結会計期間では、高付加価値品の販売が好調に推移しました。

この結果、連結売上高は53,051百万円(前年同期比24.1%の増収)、営業利益は7,345百万円(前年同期比135.6%の増益)、経常利益は7,720百万円(前年同期比84.4%の増益)、親会社株主に帰属する中間純利益は5,411百万円(前年同期比53.9%の増益)になりました。

各事業における状況及び取組みは次のとおりです。なお、当社グループは当中間連結会計期間より報告セグメントを見直しております。詳細は「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)」をご覧ください。

以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

電子材料事業では、AIサーバー向けの旺盛な需要の継続により、低誘電特性を持つスペシャルガラスや、半導体パッケージ基板向けの低熱膨張特性を持つスペシャルガラスの販売が好調に推移し、収益に貢献しました。この結果、当事業は売上高19,631百万円(前年同期比47.9%の増収)、営業利益は6,410百万円(前年同期比209.4%の増益)となりました。

メディカル事業では、体外診断用医薬品の販売は好調に推移しました。この結果、当事業は売上高6,987百万円(前年同期比15.5%の増収)、営業利益は1,364百万円(前年同期比49.2%の増益)となりました。

複合材事業では、販売は前年同期を上回ったものの、コストアップなどの影響を受けました。この結果、当事業は売上高6,527百万円(前年同期比8.3%の増収)、営業損失は668百万円(前年同期は営業損失351百万円)となりました。

資材・ケミカル事業では、販売は前年同期を上回ったものの、原材料を中心とするコストアップなどの影響を受けました。この結果、当事業は売上高4,549百万円(前年同期比2.7%の増収)、営業利益は268百万円(前年同期比37.3%の減益)となりました。

断熱材事業では、コストアップなどの影響を受けましたが、高性能断熱材の販売が堅調に推移したことなどが収益に貢献しました。この結果、当事業は売上高7,543百万円(前年同期比7.5%の増収)、営業利益は352百万円(前年同期比45.5%の増益)となりました。

その他事業は売上高7,812百万円(前年同期比31.5%の増収)、営業利益は213百万円(前年同期比11.1%の減益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は211,337百万円となり、前連結会計年度末に比べ775百万円減少しました。主な要因は受取手形及び売掛金の減少などです。

負債は80,930百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,473百万円減少しました。主な要因は社債の減少などです。

純資産は130,406百万円となり、自己資本比率は58.8%と前連結会計年度末に比べ3.1ポイント上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2024年8月1日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,664	22,898
受取手形及び売掛金	32,529	30,170
商品及び製品	15,425	13,868
仕掛品	7,476	8,491
原材料及び貯蔵品	25,849	28,085
その他	4,020	2,144
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	108,960	105,652
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,944	20,431
機械装置及び運搬具(純額)	30,351	31,679
土地	15,789	16,136
リース資産(純額)	466	440
建設仮勘定	2,776	4,967
その他(純額)	1,511	1,495
有形固定資産合計	70,839	75,151
無形固定資産	3,066	3,185
投資その他の資産		
投資有価証券	23,049	21,389
退職給付に係る資産	3,796	3,909
繰延税金資産	1,066	705
その他	1,353	1,363
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	29,244	27,346
固定資産合計	103,151	105,684
資産合計	212,112	211,337

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,604	7,501
短期借入金	12,626	11,203
1年内償還予定の社債	5,000	—
1年内返済予定の長期借入金	12,576	10,040
リース債務	262	231
未払法人税等	1,805	1,330
賞与引当金	1,083	1,789
その他	9,723	8,839
流動負債合計	51,683	40,936
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	16,638	21,830
リース債務	1,035	991
修繕引当金	5,753	4,172
役員株式給付引当金	59	86
退職給付に係る負債	5,354	5,099
その他	2,880	2,814
固定負債合計	36,721	39,994
負債合計	88,404	80,930
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,699	19,699
資本剰余金	19,373	19,373
利益剰余金	67,925	72,147
自己株式	△3,018	△3,022
株主資本合計	103,979	108,197
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,041	6,860
為替換算調整勘定	5,333	8,510
退職給付に係る調整累計額	836	771
その他の包括利益累計額合計	14,211	16,141
非支配株主持分	5,516	6,066
純資産合計	123,707	130,406
負債純資産合計	212,112	211,337

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	42,734	53,051
売上原価	28,643	33,872
売上総利益	14,090	19,179
販売費及び一般管理費	10,971	11,833
営業利益	3,118	7,345
営業外収益		
受取利息	12	19
受取配当金	250	302
受取賃貸料	142	310
受取補償金	162	—
為替差益	871	—
資産売却益	—	262
その他	149	152
営業外収益合計	1,589	1,047
営業外費用		
支払利息	203	255
為替差損	—	149
休止賃貸不動産関連費用	133	116
遊休設備費	134	45
その他	47	106
営業外費用合計	519	672
経常利益	4,187	7,720
特別利益		
固定資産売却益	0	87
投資有価証券売却益	—	22
特別利益合計	0	110
特別損失		
固定資産処分損	99	131
災害による損失	10	—
その他	4	—
特別損失合計	114	131
税金等調整前中間純利益	4,073	7,699
法人税、住民税及び事業税	903	1,358
法人税等調整額	△328	777
法人税等合計	574	2,135
中間純利益	3,498	5,563
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△18	152
親会社株主に帰属する中間純利益	3,516	5,411

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	3,498	5,563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,366	△1,181
為替換算調整勘定	2,455	3,576
退職給付に係る調整額	27	△65
その他の包括利益合計	4,849	2,328
中間包括利益	8,347	7,892
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	7,974	7,341
非支配株主に係る中間包括利益	373	550

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	4,073	7,699
減価償却費	3,523	3,845
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△107	△350
修繕引当金の増減額 (△は減少)	129	△1,580
受取利息及び受取配当金	△262	△322
支払利息	203	255
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	—	△22
固定資産除売却損益 (△は益)	99	43
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,821	2,587
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,962	△898
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,793	△1,247
その他	△176	2,117
小計	491	12,127
利息及び配当金の受取額	262	322
利息の支払額	△199	△257
法人税等の支払額	△518	△1,817
営業活動によるキャッシュ・フロー	36	10,374
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△3,303	△5,729
固定資産の売却による収入	6	96
解体費の支払による支出	△950	—
投資有価証券の売却による収入	—	22
為替予約の決済による支出	△1,061	—
その他	△44	△131
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,353	△5,741
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△496	△2,044
長期借入れによる収入	7,800	9,213
長期借入金の返済による支出	△3,264	△6,695
社債の償還による支出	—	△5,000
自己株式の取得による支出	△1	△4
配当金の支払額	△1,188	△1,188
その他	△188	△173
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,660	△5,893
現金及び現金同等物に係る換算差額	387	482
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,269	△778
現金及び現金同等物の期首残高	21,460	23,517
現金及び現金同等物の中間期末残高	19,191	22,739

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

(セグメント情報)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子材料 事業	メディカル 事業	複合材 事業	資材・ ケミカル 事業	断熱材 事業	その他 事業	計		
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	13,272	6,003	6,025	4,430	7,017	5,940	42,689	—	42,689
その他の収益	—	44	—	—	—	—	44	—	44
外部顧客への 売上高	13,272	6,047	6,025	4,430	7,017	5,940	42,734	—	42,734
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,174	—	493	929	29	1,409	6,036	△6,036	—
計	16,447	6,047	6,518	5,360	7,046	7,349	48,770	△6,036	42,734
セグメント利益 又は損失(△)	2,071	914	△351	428	241	240	3,544	△426	3,118

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△426百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用、セグメント間取引に係る未実現利益消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子材料 事業	メディカル 事業	複合材 事業	資材・ ケミカル 事業	断熱材 事業	その他 事業	計		
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	19,631	6,937	6,527	4,549	7,543	7,812	53,001	—	53,001
その他の収益	—	49	—	—	—	—	49	—	49
外部顧客への 売上高	19,631	6,987	6,527	4,549	7,543	7,812	53,051	—	53,051
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	5,464	15	506	1,045	18	1,549	8,599	△8,599	—
計	25,095	7,002	7,034	5,595	7,561	9,361	61,651	△8,599	53,051
セグメント利益 又は損失(△)	6,410	1,364	△668	268	352	213	7,941	△595	7,345

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△595百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用、セグメント間取引に係る未実現利益消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、2024年4月1日付で実施した組織改訂に伴い、報告セグメントを従来の「原織材事業」、「機能材事業」、「設備材事業」、「ライフサイエンス事業」、「繊維事業」の5区分から、「電子材料事業」、「メディカル事業」、「複合材事業」、「資材・ケミカル事業」、「断熱材事業」、「その他事業」の6区分に変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(社債の発行)

当社は、2024年10月22日に第17回無担保普通社債を次のとおり発行いたしました。

第17回無担保普通社債

- | | |
|----------|--------------------|
| (1) 発行総額 | 5,000百万円 |
| (2) 発行価格 | 各社債の金額100円につき金100円 |
| (3) 利率 | 年1.169% |
| (4) 償還期限 | 2029年10月22日 |
| (5) 償還方法 | 満期一括償還 |
| (6) 資金使途 | 借入金の返済 |